

スポーツ少年団軟式野球競技規則及び方法

1. 大会特別競技規則

- (1) 試合時間は90分を目安とする。6イニング制で75分を超えた時点で次の回を最終回とする。
(但、時間経過によって打ち切る場合もある。)
- (2) 試合回数は6イニングとするが、上記時間に達した時は、その回までとする。
- (3) 上記時間内において同点の場合、特別延長戦を2回までを限度に行い、なお勝敗が付かない場合は抽選とする。

『特別延長戦』

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。
すなわち、0アウト・二塁の状態にして行う。

- (4) 試合時間に達しても、なお勝敗が決しない場合、抽選によって勝敗を決定する。
- (5) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。
- (6) 降雨、日没等により試合継続が困難となった場合、4回終了以降は正式試合とする。
- (7) 得点差のコールドゲームは採用しない。
- (8) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。ペナルティは、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。
- (9) 投手の投球制限について、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (10) 抗議は監督または当事者が行う。
- (11) 本規則に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議のうえ、大会審判長の権により処理する。
- (12) 本大会では、ピッチクロックを採用しない。
- (13) 指名打者制を適用する。 ※ただし、二刀流（大谷ルール）は適用しない。

2. 危険防止のため次の用具を使用する

- (1) 打者用ヘルメットは7個用意し、打者、次打者、走者及び走塁指導者は、全員両側にイヤーフラップのついたものを着用すること。
- (2) 捕手は捕手用ヘルメットを着用すること。捕手用ヘルメットはマスクが分離したものを使用すること。また、捕手はプロテクター、レガース、ファールカップを着用すること。
- (3) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認（J S B Bマーク入り）のものを使用すること。
- (4) 素振り用の鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない。
- (5) 金属スパイクの使用を禁止する。

3. 競技運営に関し、次のことを規定する

- (1) 競技者の背番号について、代表団員は10番に統一する。
- (2) 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人数は次のとおり。
参加申込書に記載された指導者2名、選手団員16名の計18名とする。
※その他、コーチ1名、スコアラー1名、ボールボーイ2名を認める。ボールボーイはヘルメットを着用する。
- (3) 監督の背番号は30番に統一する。
- (4) ダッグアウトの中で携帯用マイクを使用することは禁止する。ただし、監督に限り、メガホンを使用することができる。
- (5) ダッグアウト（ベンチ）は、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (6) 試合前のシートノック練習は5分間とする。（ノッカーも必ずユニフォームを着用すること）なお、大会運営の関係で時間を短縮したり、シートノック練習なしで試合を開始したりすることもある。
- (7) 球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングは相手チームのフィールドイング練習中に限り、外野のファウルグラウンドで行うことができる。
- (8) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻30分前、第2試合後は、前の試合開始1時間後、または、3回終了時に本部へメンバー表4部（その内1部には必ずふりがなをつけること）を提出して登録メンバーの照合を受けること。なお、その際、代表団員によって攻守の決定を行う。
- (9) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (10) 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (11) 試合中、監督はグラウンドに入って指示を与えることができる（制限3回）。
- (12) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (13) ファウルボールの処理については、1塁側に止まったものは、1塁側のチームが拾う。3塁側に止まったものは、3塁側のチームが拾う。捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが拾う。なお、拾ったボールは攻撃側の次打者に渡して、それを球審に渡す。
- (14) 小雨の場合でも、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
- (15) 雨天の際の連絡について
ア. 試合の実施可否については、試合当日の午前6時30分以降に次の本部役員まで連絡すること。

蔵本 清則	090-9445-4467
奥田 勉	090-2128-1162
事務局（齊藤）	076-443-2141（平日）

イ. 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から試合を行う場合があるので、必ず連絡をすること。
- (16) チーム並びに応援団は、連盟の競技者規定に触れることのないよう注意すること。特に、投手が投球モーションに入ったら、応援は止めなければならない。また、好ましくない応援やヤジに対しては、審判員が積極的にそのチームに注意する。本大会は鳴り物入りの応援を禁止する。